

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	KOKO		
○保護者評価実施期間	令和7年 11月 24日	～	令和7年 12月 15日
○保護者評価有効回答数	18	(回答者数)	14
○従業者評価実施期間	令和7年 11月 24日	～	令和7年 12月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 7	(回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2月 10日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	地域や他事業所との連携を行い、支援の質の向上に努めている。	地域の子ども部会や交流会に参加し、他事業所と情報交換を行っている。得られた情報や新しい療育の考え方を事業所内で共有し、日々の支援に取り入れている。	今後も地域の会合等への参加を継続し、より多くの情報を収集するとともに、職員間での共有を行い、支援内容のさらなる充実を図っていく。
2	職員教育や支援体制の強化に取り組んでいる。	今年度より、虐待防止・感染対策・事故安全等の委員会制度を導入し、各委員会が主体となって社内研修の企画・実施を行っている。職員の知識向上やスキルアップに力を入れている。	今後は、各委員会の取り組み内容について、保護者に向けた情報発信を行い、事業所の取り組みをより分かりやすく伝えていく。
3	保護者や地域に向けた情報発信・交流の機会づくりを行っている。また、これまで外部ボランティアの協力を得て音楽療法を実施しており、音やリズムを通じた活動は、子どもたちの情緒の安定や表現力、コミュニケーション面の向上につながっていた。音楽療法は、子ども一人ひとりの特性に応じて参加しやすく、楽しみながら取り組める療育活動として有効であると事業所として認識している。	Instagramを活用し、日々の活動の様子や子どもたちの取り組みを写真や動画で発信している。来所時の様子や支援内容が分かりやすく、保護者が安心して利用できるよう情報提供を行っている。	今後も継続的な発信を行い、事業所の取り組みや支援内容をより分かりやすく伝えることで、保護者との信頼関係の構築につなげていく。現在は音楽療法の継続実施が困難な状況であるが、その必要性を踏まえ、知人等へ協力を依頼するなど、再開に向けた体制づくりを進めている。今後も多様な療育活動を検討・導入し、支援内容のさらなる充実を図っていく。また、施設解放日を設け、参観日や保護者交流会の実施を検討し、事業所と保護者、保護者同士が交流できる場づくりを進めていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所間および職員間の情報共有に課題がある。	3事業所を運営していることから、利用児童の状況や支援内容、留意事項等について、事業所間および職員間で共有すべき情報量が多く、口頭連絡や日々の業務の中では情報が十分に行き届かない場面が生じることがある。また、勤務形態の違い等により、全職員が同じタイミングで情報を把握することが難しいことも要因となっている。	情報共有の方法を見直し、記録様式の統一や共有ツールの活用を検討するとともに、定期的なミーティングを実施し、重要事項の確認を行っていく。あわせて、引き継ぎ内容の明確化を図り、誰が見ても分かる情報共有体制の構築を進め、支援内容の統一と質の向上につなげていく。
2	人員体制が不安定になる場合がある。	現在、常勤・非常勤職員を含めた限られた人員配置の中で運営しているため、スタッフ本人やスタッフ家族の体調不良、急な休み等が発生した場合に、人員配置に影響が出やすい状況がある。その結果、一時的に人員体制が不安定になることが課題となっている。	引き続き3事業所間での協力体制を強化し、応援体制や柔軟なシフト調整を行うとともに、派遣職員の活用を含めた人員確保を行っていく。また、急な欠勤が生じた場合でも支援の質が低下しないよう、複数職員による業務理解を進め、安定した支援体制の維持に努めていく。
3			